

2025年(令和7年)2月20日号【第365号】

# BATPOST

よい会社をつくらう よい経営者にならう よい経営環境をつくらう

(一社)広島県中小企業家同友会 福山支部報

2

2025  
February



## 新春講演会

「どうなる世界と日本?! ~不確実な時代の中小企業の経営」

### Contents

新春講演会	P02
互礼会の様子 企画委員長一言	P05
地区会だより	P06
部会だより	P09
委員会だより	P10
支部理事会報告	P12

県スローガン

Human First! ~新時代へ挑戦~

福山支部スローガン

私たちが創ります 私たちの学び舎を  
~いまこそ主体的に動こう~



よい会社をつくらう よい経営者にならう よい経営環境をつくらう

(一社)広島県中小企業家同友会 福山支部報

発行責任者 広報委員長 春名 孝一郎

〒720-0066 福山市三之丸町8-16  
福山ニューキャッスルホテル B1F  
TEL 084-923-0286 FAX 084-923-0284  
URL <https://www.hiroshima.doyu.jp>  
e-mail [fukuyama@hiroshima.doyu.jp](mailto:fukuyama@hiroshima.doyu.jp)

# 新春講演会

- 日時:1月8日(水)
- 会場:福山ニューキャッスルホテル
- 講師:(有)第一コンサルティングオブビジネス 代表取締役 丸山 博 氏(東京同友会)
- 参加者:148名

## A地区



A地区1月例会は、新春講演会へ参加。  
「2025年」どうなる世界と日本!?不確実な時代の中小企業の経営」のテーマのもと丸山先生の御講演をお聞かせいただきました。  
初めに、政治、戦争、投資のお話をさせていただいて、1人1人の不安、不満が大きくなり与党が全敗と聞き、日本も世界も変わらないと思いましたが、戦争もいつまで続くのか、終わるどころか拡大する傾きもあり本当に世界は、どうなってしまうのかと思いました。



経済では、賃金が上がるのは、大手企業さんばかりで、中小企業は、上がらず苦しめられてばかりです。  
この時代だからこそ、経営者達がどう対応し、どう解決して行くかがこの先の経営にとっていかに大切かを改めて感じました。

(同)910  
工藤 純(A)

## I地区



1月のI地区例会は、支部例会の新春講演会に合流という形で行いました。  
講師は、毎年恒例の丸山先生で、世界情勢や日本経済の状況、そして事業者は何を重点に行動すべきかについて、わかりやすく楽しく聞くことができました。  
私が心に残ったポイントは、以下の2点です。  
まず、Chat・GTPを事業に活かしていくということです。昨年夏に地区例会で勉強会を行いましたがいよいよ実際に活用していくには、各自で取り組んでいく必要があります。時代の流れには、しっかりとついていきたいものです。

そして、第2点は、事業の原点は「お役立ち」にあるということです。自社の存在意義を改めて問い直し、使命感に燃えて事業活動を行うことで、取引先や地域社会から高い信頼を得てこそ、事業が成り立つものだと思います。  
そのためには「経営指針書」というツールを活用し、自社の理念・計画を常に認識し、スタッフとのコミュニケーションも高めることが大切であること、つまりは、同友会での学びを実践していくことが事業の発展につながるということが改めて学ぶことができました。



共和エンタープライズ  
藤井亮治(I)

# 「どうなる世界と日本?!」

## ～不確実な時代の中小企業の経営～

### J 地区



池永 経営(株)  
渡辺昌弘(J)

J地区1月例会は新春講演会に合流でした。もはや恒例の丸山先生の話から1年がスタートです。不確実性が深まっている世界と日本、その中で中小企業がどう考えどう行動していくべきなのか。今年もこれからの1年の進むべき道のヒント満載の講演会でした。

進む田安。日米の金利差だけが原因ではないかもしれない。NISAやGoogleで検索をすることも、円安の原因になっているかもしれない。日本政治、経済の課題も重要な内容でした。名目賃金は上がっているが、実質賃金は上がっていない。そこには説明がつく要因がいろいろある。それをどう確保していくのか。利益を出す為にどうするのか。「価格決定権を持つ会社になる」と。だとすれば「なくてはならない存在になる」。経営者の閃きと行動力が重要になります。

また、この業界も直面している人手不足。人材獲得には時間とお金がかかります。今までと同じやり方でのいいのか、他社は何をやっているのか、求職者は何を求めているのか、新たな取り組みも必要になるはず。当社も採用に至るまでには相当の時間をかけています。

また、新しい技術への好奇心を持たないというデメリット。DXやチャットGPTです。標準的な回答が主はいえ、「いやー、わしにはわからん」、「ありやーいけん」ではなく、上手に活用していかないと生き残っていけない。商売、採用、働き方を変えていっていかないと、使っていないとわからないですね。私が思っていた以上に差が広がっているんだなと思います。

また会社の方向を決めていく経営者の資質の話もありました。①構想力。閃きな経営者にならない為にインプットとアウトプットを繰り返す。この原稿を書いている今振り返りしているのがこの内容。今やる、すぐやる。とても大事です。人は第1歩目がなかなか出ません。踏み出せる人が成功や失敗を掴むのでしよう。③動機。社員をその気にさせるには「傾聴する」経営者、幹部は聞く力を磨く。改めて努力します。

と、まだまだ多くの内容の話だった講演会でした。毎年の事ですが多くの「なるほど!」、「知らなかった!」を与えてくれます。今年1年、本日の内容を参考にしながら計画を立て、行動をして、より世の中に必要とされる会社を目指していきます。

### P 地区



二見義和行政書士事務所  
二見義和(P)

新春講演会は丸山先生から「どうなる世界と日本?!」不確実な時代の中小企業の経営」と題してご講演いただきました。

今年も世界は波乱万丈になりそうなかで日本でもデジタル赤字や人手不足など様々な問題があることを学びました。

これからはDXやAIの活用を視野に入れていかないと取り残されることも感じました。同友会の会員にはひらめくけど努力しないという言葉もありました。経営者として常にアンテナを張って商売のヒントを得る努力とそれが見つけなければならない勇気と実行力が必要だと思いました。

途中コミュニケーションゲームでも実感しましたが、社員に指示する時にきちんと言いたいことが伝わっているのか? 誰がきいても同じ形になるのか? これを意識していか

ないといけないと思いました。結論としては、同友会の会員であるのでやはり経営指針をきちんと作成して経営者としてやるべきことをやっていくのが何より大事だと捉えられました。

さて、その後新年互礼会では限られた時間ではございますが、青年部40周年の案内や各地区会長の一言など盛り沢山の催しだったと思います。ここでは日頃なかなか会えない他地区の方とも交流ができ、1年の始まりとして良い挨拶の場となりました。

1年後には次の期の役員も決まっていることだと思いますが、今年も楽しく同友会活動をしたいと思っています。

# S 地区



福山支部新春講演会に参加しました。今年もたくさんさんの学び・気付きがありました。2025年は「不透明・不安定」の時代。不透明・不確実・不安定と。不安な流れがある中でも、中小企業こそ新たな挑戦ができる！ということ。今まで以上に挑戦し続けて行こうと、パワーをもらいました。

また、超人手不足というキーワードに対して、「願ったりかなったりの人は来ませんよ〜」と。確かに！どの仕事をしてもらっても、細かく分解してみれば本当に小さなことの積み重ねだということ。ここに改めて気づかせていただいた事は、私にとって大変プラスとなりました。①若者が一緒に

働きたいと思ってくれる会社づく②業界においてなくてはならない存在に。まさに私の中でも軸になっている想いです。

経営指針書を未熟ながら作成していますが、何度も原点に立ち返り、見直しをする中で経営戦略・事業計画・経営計画をしっかりと立て、スピーディに進めて不透明な時代を乗り越えたいと強く思いました。

いつも気持ちにスイッチが入る講演をありがとうございます。さあ！2025年も頑張るぞ！



(有)キッカワ  
守本貞江 (S)

# 女性部



新春講演会に参加させていただき、丸山先生のお話を直接聞くことができ、大変貴重な時間となりました。毎年行われるこの会は、特に中小企業経営者にとって、経済の動向を把握するために非常に有益な機会です。

先生の話を通じて、不確実性の高い現代において、企業経営において何が重要であるかを深く学びました。経営者として、今後の不安定な社会情勢に対応するためには柔軟かつ迅速に適應する力が求められると感じました。

また、互礼会では、普段なかなか接する機会のない他の会員メンバーと交流を深めることができました。さまざまな業種や立場の方々の意見交換を通じて、新たな視点を得ることができ、非常に有意義でした。

女性としてもこうした場に参加することで、さらに多くの知識やネットワークを広げ、今後の仕事にも生かしていきたいと思えます。

経営者としての視野を広げ、今後の事業展開に生かせる貴重な学びが得られました。来年もまた参加したいと感じています。



ホリスティックブレイン学院(株)  
藤原留衣 (B)

# 互礼会の様子 企画委員長一言



新春講演会には148名、新年互礼会にも92名と多くの会員に参加頂き新年から大変盛況な支部例会が開催できたこと、そしてアンケートに回答くださった98%の方が満足と回答して頂いた新春講演会が企画できたことは企画委員長として大変ありがたい想いでした。

2025年1月8日は福山支部新春講演会で恒例の丸山先生こと(有)第一コンサルティングオブビジネス 代表取締役 丸山 博氏に新春講演をして頂きました。

今年は2024年の世界各国の選挙で与党が負けて新たに不確実・不透明な時代が到来する。そんな時だからこそ我々中小企業は事業の原点に立ち返り生き残っていかないとけない。事業の原点とは「お役立ち」にある。我々は自社の使命を再確認して同友会の基本方針を実践すること。21世紀型企業を目指して本気で経営戦略を再構築しなければならぬと熱く語られました。我社でも価格決定権の無い下請け体質から脱却を目指してお客様の下請けからコアパートナーになるよう取り組んでいきます。

また、互礼会でも少々反省点はあるものの短い時間の中でしたが会員同士が語らう声が大きく聞こえたことは非常に意義のあるものだったかなと改めて思い返しました。

来期の支部例会も今回の新春講演会&新年互礼会同様に出席された会員が満足して会員同士が学びあい、実践につなげる例会にしていきたいと思えます。

## 3月支部例会の案内

みなさん40年前は何をしてましたか？生まれてましたか？今年、福山支部青年部は40周年を迎えました。3月の支部例会は40周年を迎えた青年部と合同開催します。先人が積み重ねてきた同友会という学び舎で共に学び合い、実践し合って会社を良くしましょう！

3月支部例会は「ビジョンと実践」をテーマに開催します。人口およそ1万人の長野県木曾郡木曾町で、電子部品や木工製品の製造、建設業、クリーニング業を営んでいるテツカ精機。手塚氏が後継者として入社した当初は「社依存で、経営の何もわからない状態。挑戦と失敗の連続で、一時は倒産の危機を迎えます。」

そこで改めて同友会で学び、経営と社員に正面から向き合うと、少しずつ会社が変わり始めます。人口や事業所の減少が加速する町で、地域の課題を自社に活かし、成長を続けている同社。会社の躍進の秘訣、そして、手塚社長が同友会の学びで気づいた「とりもどき」とは？社員と共に挑戦を続ける報告から私たちの会社の未来について考えます。



企画委員長 (株)イアック  
内海陽平(D)

# 2025年B地区新年互礼会

～自ら筆を執り、やるならやらねば！決意を語ろう最強B地区！！～

- 日時：1月16日（木）
- 報告者：参加者全員
- 会場：ふなまちベイホール
- 参加者数：55名



(前)定中  
田中光信(B)

# B地区会

地区会だより

2025年最初のB地区例会は、ふなまちベイホールで新年互礼会を行いました。未だB地区会長の新年挨拶の後、マルフク(株)寺岡氏の乾杯の発声で会がスタートしました。新年の幕開けに相応しく、にぎやかな中にも凛とした雰囲気漂う中で例会となりました。

例会ではB地区恒例の書初め発表も行いました。参加者全員が色紙に今年の目標や決意をしたため、書初めの言葉に込めた想いと決意を一人ずつ発表しました。毎年同じ目標を掲げて決意を述べられる方や、昨年の課題や失敗を糧に新たな目標に挑戦される方など、発表される皆さんの熱い想いがひしひしと伝わってくる発表でした。皆さんの発表を聞いていると、自分ももっと頑張ろう！そんな刺激を与えてもらえる書初め発表でした。

書初め発表の後には、『地区の仲間を知ろう！テーブル対抗クイズ大会』と題した、レクリエーションも行いました。ビールの銘柄を当てるクイズや、B地区に昨年何人の会員さんが増えたか等のクイズの他に、口クイズを行って作った映像クイズまであり、会場は大変盛り上がりとなりました。

書初めやレクリエーションを通して、B地区の団結や仲間意識の強さを改めて感じることが出来た例会となりました。そして何より、忙しい中充実した例会を企画して下さいました実行委員の方々に感謝したいと思います。ありがとうございます。

# 新年互礼会

～人を生かすD地区！君に光を！～

- 日時：1月15日（水）
- 参加者数：29名
- 会場：元町ホール



(前)日興電気工事店  
今城邦義(D)

# D地区会

地区会だより

1月15日(水)人を生かすD地区！君に光を！と題してD地区新年互礼会が開催されました。美食を共にし、様々な会話を楽しみ相手を知ることの大切さを実感する例会でした。

今回は懇親メインでしたが、地区会員が更に深い関係性を築くことが出来たと存じます。これを機に参加することが楽しくなり学びを実践していくサイクルが構築できれば少しずつ地区会が活性化し、夫々の会社が良いとなると実感する例会でした。

メインイベントとしてチーム対抗ゼスチャーゲームが行われ、普段知ることが出来ない夫々の皆様のコミュニケーション能力や気づく力を発見することができ、関係性の質が向上する大変素晴らしい企画でした。

## 中小企業の強みを活かした採用戦略 ～元ハローワーク職員が語る～

■日時：1月21日（火） ■講師：人材派遣コンサルティング 奥下裕斗志氏  
■会場：ローズコム ■参加者数：36名



(有)岡村商運 岡村龍次(E)

E地区1月例会は、ローズコムにて人材派遣コンサルティング 奥下裕斗志氏に、長年ハローワークで勤められていた中で中小企業の強みを活かした採用について、発表を行っていただきました。

福山市では全国平均より求人倍率が高く、採用は特に難しい地域。毎月の退職者数、職種による求人倍率の違い（建設8倍、事務職0.68倍）など、数値でわかることは今後の採用の戦略には大事な要素かと思いました。

その中で求職者さんにも選んでもらえる企業づくりのため例として、採用担当者を採用と採用プロセスの構築、採用後のフォローアップを行い、年間50名の応募、17名の採用という素晴らしい結果をだされたようです。

自社に置き換えた場合に、採用担当者を置くことは無理です。

例の方法をそのまま活用することは出来ない。SNSなどでの情報発信と入社後の不安を取り除ける説明プロセスと、それに必要なマニュアルの作成は今の状況でも取り入れることだと感じました。

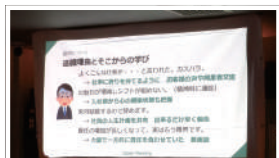
今後も全体的な人手不足は続くかと思っています。

自社で働きたいと思える環境づくりと、それを外部へ発信することを一連の流れとして取り組んでいくきっかけとなる例会でした。

奥下さん、ありがとうございました。

## 令和の求人事情はどうしてですか？ ～人が続く職場づくりには～

■日時：1月15日（水） ■報告者：(有)クローバープランニング 作田力也氏  
■会場：火鍋 熱火朝天 山晴建設(株) 佐崎 高広 氏  
■参加者数：37名



(株)キュアライフ 奥野充喜(F)

今回は福山支部F地区と三原支部Aグループによる合同例会が開催されました。本例会ではF地区から山晴建設(株)の佐崎高広氏、三原支部から(有)クローバープランニングの作田力也氏が体験発表を行いました。

まず、(有)クローバープランニングの作田力也氏は、ベトナム企業を営む同社の採用と人材育成について発表しました。同社は少人数の小規模企業ながらも、知人紹介ハローワーク、求人サイトを活用し、即戦力よりも育成可能な人材を重視して採用活動を行っています。社員育成には、基本的なビジネススキルの教育や作業マニュアルの整備を取り入れ、定期的な面談を通じて社員のスキルアップと職場定着を目指しています。特に離職原因を丁寧に分析し、職場環境の改善に注力する姿勢が印象的でした。今後は、育成期間の短縮、習熟度テストの導入、誰が辞めても事業を維持できる体制づくりが目標として掲げられています。

次に、山晴建設(株)の佐崎高広氏は、下請け工事中心の経営から新規事業への挑戦を通じて経営改革について話しました。同社では、遮熱工事をはじめとした新規事業に注力し、採用方法を抜本的に見直しました。社会保険労務士のアドバイスを受けて、求人票に仕事の意義や社会性を盛り込み、賃金幅の調整を行った結果、未経験者の採用に成功。採用後は丁寧な育成を行い、売上が着実に拡大しています。さらに、外部委託やDXの活用、協力的な連携を強化し、小さな課題を解決しながら成長を続けています。

その後のグループ討論では、「新任者に仕事の魅力をどうやって伝えていきますか？」従業員が辞めないためにどんな対策を行われていますか？の2点で討論が行われました。

外国人従業員の採用に焦点を当て、家族への送りというモチベーションを評価しつつ、言語や文化の壁を考慮した多様な人材活用の可能性がある。一方、新入社員への仕事の魅力伝達方法として工場見学や面接前の体験実施、さらには仕事のデメリットを先に伝えるアプローチが挙げられました。

従業員の定着策については、家族への配慮やベースアップ、独自の休暇制度などが重要視され、職場のコミュニケーション向上の必要性が共通認識となった意見がありました。

今回の例会では、採用と人材育成における企業の工夫が多く共有され、参加者にとって大きな学びとなり、それぞれでの発表や討論を通じて、人材不足が続く中で柔軟な戦略や具体的な施策が示されました。特に、外部の専門家への取り組みが注目され、他の参加企業にも応用可能な事例が多く含まれていました。

# 令和7年度G地区直会

■日時: 1月15日(水)      ■参加者数: 15名  
 ■会場: 福山八幡宮



G地区の始まりはここから! 2025 直会 in 福山八幡宮

# 新会員事業に対する意気込み

■日時: 1月14日(火)      ■報告者: AtREST 福原一馬氏  
 ■会場: 市民参画センター      民間救急999 大原 知氏  
 ■参加者数: 18名



大原さん



福原さん

# G地区会

地区会だより

福山支部の皆さま、新年明けましておめでとうございます。本年も引き続き、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。  
 G地区の1月例会は長年の伝統で福山八幡宮へ参拝してご祈禱を受けた後に直会を開催しました。本来直会とは神前にお供した物を頂くことにより、神と人が一体となるのが根本的意義ですが、祭典後に神職がもとの生活に戻ることから、日常に戻るとの意味もあるそうです。正月を締めくくる小正月である1月15日にG地区の直会を行えたことに特別な意味を感じました。  
 あいにく数名の出席予定者が体調不良の為欠席となりましたが、参加者は15名となりました。会員同士がそれぞれの会社のこと、同友会のこと、私事等忌憚なく語り合える直会になりました。



ヤマモトロクマシ(株) 山本将登(G)

そんな懇親の場で印象に残ったことがありました。諸事情で同友会から少し疎遠になり、よく知れたベテラン会員が少なくなっていたこともあって一時は退会を考えたくらいだったベテラン会員の方が、所属する小組のグループ長の積極的な声掛けで会の活動に復帰する気になられたことでした。君のお陰でもどっってくるのが出来た、ありがた〜と何度も言われていたのが印象に残った例会でした。

# K地区会

地区会だより

2025年度1月のK地区会は新会員のAtREST (整体師)の福原さんと、民間救急スリーナイン(救急救命士)大原さんお二人の事業内容や取り組み、課題、どういった想いで仕事に取り組んできたか詳しく話していただき、とても分かりやすく為になりました。  
 共通して困っている方を助ける事業なので、たくさんの方に認知して頂く事が自身の経営に重ねても非常に大切だと感じました。



KAMILABO ASVII 中村晴美(K)

確認をしておこうと思いましたが、新規客獲得では外観やSNS投稿、口コミ等々いい意見がたくさん出てきて「まずは知ってもらい、安心して来店できる環境を作り、リピートにつながる」という流れが重要であることを再確認しました。  
 様々な業種の方の工夫や悩み貴重な意見を聞くことができ、今回学んだ内容を生かしてお客様にとって価値のあるサービスは何かを考えながら自分もお客様も楽しませて日々取り組んでいきます。



# 3月支部例会&福山支部 青年部会40周年記念行事のご案内

青年部だより



福山支部青年部会はこの度40周年を迎えることができました。これもひとえに、本会の皆様のご支援と歴代青年部先輩方が築いてくださった基盤のおかげであり、深く感謝申し上げます。

青年部全国代表 (有)テツカ精機 手塚社長をお招きして「ものづくりからまちづくりへ～ビジョンの実践～」というテーマで、基調講演を行っていただきます。

「月曜日がワクワクする会社」と社員が語るほどの会社を経営している手塚氏。先代から会社を引き継いだ時には売上99%を1社に頼るほどの不安定な経営状況であった。そこで同友会に出会い、経営指針作成「ものづくりからまちづくりへ」の経営理念を掲げ、会社の業績が徐々に良い方向へと変わった。今では100億円企業へ挑戦中という手塚社長から報告をしていただきます。

私たちは青年部ビジョン「温故知新」を胸に、先人の知恵を大切にしながら、より良い活動を目指して次の一步を踏み出す決意です。本行事では「感謝」ということをテーマに、「繋がり」の大切さ、「感謝」の重み、そして「ビジョン」の力を感じ、さらに充実した活動へとつなげてまいります。

日時:令和7年3月12日(水)

17:30 受付開始

18:00 支部例会・基調講演

20:15 記念パーティー開始

22:00 終了



青年部会長  
小林弘樹社会保険労務士事務所  
小林弘樹(G)

## 福山支部青年部1月度例会 ～スッキリしようぜ討論例会～

青年部だより



■日時:1月14日(火) ■参加者数:34名  
■会場:元町ホール



「来期以降も相談できる仲間を一人でも増やす」をテーマに行われた今回の討論例会。体験発表はなく、事前アンケートで振り分けたテーマについて70分もの討論を行った。会社の状況はそれぞれあるが、都度、「自社にとって置きかえて学ぶことはあるだろうか」と考えていくことが必要である。アンケート結果を拝見すると、大多数の方が学びを得て帰っていただけようだった。運営メンバーも今回は討論に積極的に参加するスタイルで感じたことは、70分の討論はやはり短いということ。懇親会会場も同会場、同席で行ったことにより、グループ討論の延長戦ができたのではないかと感じている。

決算書を持ち寄り、社員教育、社員満足度、売上拡大、経営指針の大項目にてグループ分けを行ったが、討論例会というところがアダとなり参加者数が少なかったことを次回への課題として「同、また学びを深め、明日への実践につなげていきたい。」

SPECTER(同)  
本原侑治(A)

# 経営労働 委員会

## 経営基礎講座 第4講経営方針編

第1回「経営方針の立て方を学ぼう」SWOTを活用した経営方針の立て方・実践

■日時:1月9日(木)

■講師:バンズグリル 小川尚範氏

■会場:事務局・Zoom・サテライト

■参加者数:31名



経営基礎講座第4講第1回は、「経営方針の立て方」をテーマに、バンズグリル小川氏から講義・解説いただき、SWOT分析を活用した経営方針の作成方法について学びました。経営方針とは、経営理念の実現を目指し、中期(3〜5年)のあるべき姿と目標を示し、それに到達するための道すじを示したものです。その最初のステップとして、SWOT分析を活用し、自社の現状を正しく把握することが重要であると学びました。今回の講座では、各自がSWOT分析を実際に行い、強み・弱み・機会・脅威を洗い出しました。特に「条件設定」がポイントとなり、ターゲットを明確にしてその人に役立つ自社の強みは何かを考える、ビジョンを明確にしてそこに到達するために発揮すべき自社の強みは何かを考える等、



早間金属(有)  
早間一隆(A)

それぞれの切り口から自分に問いかけることでより実践的な経営方針につなげることができるということを分かったり、グループ討論では、作成したSWOT分析を発表し合い、他社の視点や価値観を学ぶ貴重な機会となりました。皆さんの発表を聞いたりアドバイスをいただいたりすることで、自身にはない視点や新しい発想を得られたことも大きな気づきでした。今回の学びを活かし、今後は社内でも社員さんへ交えたSWOT分析を実施し、より実践的な経営方針を策定していきたいと思えます。経営者だけでなく、社員さんとも現況を分析し、共通認識を持つことで、より強固な組織づくりを目指していきたいと思えます。

# 経営労働 委員会

## 経営基礎講座 第4講経営方針編

第2回「経営方針の立て方を学ぼう」クロスSWOTを活用した経営方針の立て方・実践

■日時:1月24日(金)

■講師:バンズグリル 小川尚範氏

■会場:事務局・Zoom・サテライト

■参加者数:23名



1月度の経営労働委員会主催の経営基礎講座では、前回に引き続き経営方針の講義と勉強会を開催いたしました。講師の小川氏の講義はとも分かります、参加された会員さんは経営方針を作成できたのではないのでしょうか。私自身も何回も聞いているのですが聞くたびに新しい気づきがあります。皆さん、SWOT分析・クロスSWOT分析で導き出した方針を経営方針検討シートに落とし込み、経営方針を作成いたしました。参加された会員さんが経営理念や10年ビジョンそして社員のことを考えながら、しっかりと経営方針を作成していただきました。

グループ討論では、もっとブラッシュアップや深掘りをしていくために、会員同士でワークやアドバイスをしました。次回の経営方針発表の時にはどんな経営方針を皆さんが発表されるのかワクワクしております。その後、有志の仲間で見学会にも参加したのですが、やはり経営労働委員会！食事をしながらでも経営のにおいがする話でとても盛り上がりました。



(有)シャルダン商会  
藤田哲也(E)

皆さんもぜひ！同友会1丁目1番地の経営労働委員会に参加されてみてはいかがでしょうか？

# 求人社員教育 委員会

# Bingo Job Labに参加して

■日時:1月14日(火) ■参加者数:8名  
■会場:福山大学

今回初めてこの企画に参加させて頂きました。誘われた時は、よく分からないけど何かきつかけがあればという安易な考えと、誘われた方にはなかなか断れない所があり、参加させて頂きました。

最初に、現役の学生とミニセミナーという事でグループディスカッションを行ったのですが、やはり自分自身が会社に入るための面接などしたことなかったもので、こちらもかなり緊張しました。

始めに話をさせてもらった学生は、どこに行くかどうしたいか等はずきり決まっていたので、話す内容もしつかりしていました。また違うグループで話した学生は恥ずかしそうな方でしたが、やりたい事ははっきりしているもので、後は相手にどう伝えるかをもう少しブラッシュアップすれば見えてくるのではないかと思います。

その他にも、営業が自分自身に合うという事が分かっている学生からは、自分で作った名刺を渡され、話す内容なども積極的に自分を分析する能力もあるという事でした。



(株)赤坂ポーリング  
赤坂雅士(S)

体育会系の学生からは同じ事を続ける能力があり、それを活かす仕事に付きたいと言われていました。

この企画の構成は2回に分かれていて1時間半程の模擬面接を行い何人も学生に会いましたが、どの学生も自分のそれぞれ個性があり、同じような人はいませんでした。

この模擬体験は学生にとっても企業にとっても凄く意味のある企画だと、やってみて初めて分かりました。もっと色々な学校にお願いして、回数を増やしてもらえると現在の学生がどういう考えや将来像をもっているかが少しずつ見えてくるのではないかと思います。

自社のPRのやり方、言っているいけない言葉...など会社側も回数を重ねて行き、どちらにとってもWin-Winな企画になっていけばいいと感じました。

# 政策 委員会

# 賃上げについて

■日時:1月7日(火) ■講師:小林弘樹社会保険労務士事務所 小林弘樹氏  
■会場:事務局 ■参加者数:18名

この度、政策委員会では「賃上げについて」をテーマに、小林弘樹社会保険労務士事務所の小林代表をお招きし、ご講演いただきました。

賃上げや賃金については、さまざまな事情が複雑に絡み合っており、明確な答えを導き出すのは難しいのが現状です。同じ時間を働いていても仕事内容が異なれば収入も変わる事は当然ですが、その全体を包括して「最低ライン」を定めたものが最低賃金です。

たとえば広島県では、最低賃金が20年前と比較して1.57倍になっていきます。一見すると、物価の上昇に比例した当然の結果と考えられますが、実際には業種によって事情は異なります。総需要の後退や同業者の増加による競争激化で販売量が減少したり、これまでに必要のなかった新たな経費が発生したりといった課題に直面する企業も多くあります。それでも人員数は変えられず、さらには社員の質の向上も求められる。このような厳しい状況の中で、企業は評価されるのです。今の社会は非常に神経を使う環境だと感じます。



こうした背景から、賃金と物価を単純に比較することはできません。それにもかかわらず、この流れに乗らなければ将来的な企業存続が危うくなる」といった脅迫的な報道や記事が目立つのも事実です。もしこれらが経営者の反骨精神を刺激するための戦略であるならば見事だと感じしますが、そんな「言いなり」にはなりたくありません。

だからこそ、自社が「どうありたいか」「どうなりたいか」という経営指針を明確にし、その理念に賛同し力を貸してくれる社員に「この会社において良かった」と思ってもらえる企業づくりが必要だと強く感じました。

経営指針を明文化することは、まさに覚悟を決めることです。この覚悟を持たない経営者には淘汰の波が押し寄せているように感じます。その意味で、経営者に覚悟を促す同友会の方針は非常に的を射ていると実感した勉強会でした。



(株)福山楽器センター  
新庄一貴(K)

# 第9回 福山支部理事会 報告

2025年1月29日（出席者 31/32）

## 【討議事項】

●「今年度の福山支部の振り返り～総会議案作成に向けて～」 問題提起：  
掛江総会議案委員長

・本日は来期の議案書作成に向けて、今年度の振り返りと来期について討議をお願いします。来期のスローガンや大きな方針は変更しません。支部の方針に沿って、それぞれの活動を照らし合わせながら、1年を振り返ってみてください。

・議案委員会では、皆さんの意見を踏まえながら、いい議案書を作っていきたいと考えています。反省だけではなく、「来年はこうしたい」という前向きな意見や具体的な事例を出していただければ嬉しく思います。それでは福山支部の議案書を見ながら、討議をお願いします。

※「今年度の振り返り(支部全体・担当組織)と次年度の思い」をテーマにグループ討論を行いました。内容は省略します。

## ●まとめ

[豊田支部長]

・貴重なご意見ありがとうございました。今年度の支部理事の皆さんは、重点課題を念頭に、主体的に動いていただき、本当に感服しています。本日も1年の反省点を踏まえつつ、前向きな意見が出ていて、本当にうれしく思います。仕事をしながら限られた時間の中で、2年目は、その時間配分も慣れてくるのではないかと思います。

・この理事会も、委員会・部会・地区会も今までよりさらに協力者や仲間を増やし、大きな目標に向けて進めていきたいと思います。本日のご意見は議案書にフィードバックしていきます。引き続きよろしくをお願いします。

## ■報告・連絡

### ●専門・委員会

#### ①組織委員会

・3/4(火)に県組織委員会が福山で開催されます。懇親会でも増強の意義を考えたいと思います。参加対象の方は、懇親会を含めて出欠のご回答をお願いします。

・組織委員会では各地区、部会の出席率とオブザーバーの数を確認しています。昨夏からオブザーバーの参加者数が激減しています。新しい風を入れるためにも、改めて入会候補者の方へお声がけください。

#### ②企画委員会

・新春講演会には、約150名が参加しました。多くのご参加をありがとうございました。

・3月支部例会は、3/12(水)の18時から開催します。

・支部例会終了後は、青年部主催の40周年記念行事(懇親会)を行います。あわせてご参加ください。

#### ③広報委員会

・最近、原稿提出のペースが落ちているようです。締切までのご提出にご協力ください。

・広島同友会のホームページで会員の紹介を行っています。豊田支部長以外で、各支部2名が登場します。推薦があれば、広報委員が事務局にお知らせください。

#### ④経営労働委員会

・企業変革支援プログラムの登録、回答にご協力ありがとうございました。おかげ様で広島が回答数、回答率で全国トップとなりました。

・昨年度の経営指針成文化調査は回答率50%でした。今年度は50%を超えたいと考えています。続いてのお願いで恐縮ですが、よろしく願いいたします。

#### ⑤求人社員教育委員会

・4/1(火)に合同入社式、4/2(水)～4/3(木)に新入社員研修を開催します。少し申込数が伸び悩んでいます。

#### ⑥地域内連携推進委員会

・7/12(土)～7/13(日)に委員会主催のイベントを開催します。イメージは昨年の40周年をコンパクトにした企画です。会員外の方にも同友会を知ってもらうことが目的です。

・予算の関係上、40社以上の出展が必要です。県委員会で、尾道・三原と合同開催し、県東部の行事として認めていただける見込みになりました。詳細が決まり次第、お知らせします。

## ●地区会・部会

### ①F地区

・3月地区例会は環境経営委員会とのコラボで開催します。中小企業が環境経営にまつわるどんなことができるのか、他地区の方もご参加いただき、考えていきたいです。

### ②青年部

・3月支部例会は「感謝」をテーマに青年部内で準備しています。初代青年部会長もお呼び出来たら、と考えています。支部例会後の記念パーティーは、200名定員です。広くご参加をお願いします。

## ■県関係の報告

### ①県理事会の報告

・県議案書に向けた討議を行いました。支部長に共通したのが、例会のテーマと参加人数、メンバーの固定化等が課題として挙げられました。また、小規模事業者の入会が増える傾向にある、との話が出ました。同友会に賛同して参加を続けていても、ある日、活動と経営の両立に疲弊して参加しなくなる、という話がありました。県全体の課題であり、個人にまかせっきりせず、フォローが必要だと感じました。

## ■その他の報告

### ①ビジョン委員会の報告

・着々とビジョンが出来上がりつつあります。現在のビジョンで掲げた目標と現実の差が大きくなりますが、コロナを理由にしたくない、という意見が出ています。

・新しいビジョンは現実的な数字の目標設定にしています。またビジョンの各項目で関連委員会を記載します。目標数字は各組織に相談しています。ご意見をお寄せください。

・みんなで5年後の福山支部の姿を作ったという意識を持つためにも、ぜひご意見をお寄せください。

### ②役員選考委員会の報告

・青年部会長の任期が1年のため、支部総会で青年部会長のみが交代します。先ほど、役員選考委員会を開催し、青年部から推薦があった次期、青年部会長候補の方を確認しました。

・来期の青年部会長候補は、A地区の早間金属(有) 取締役 早間一隆氏です。選考基準に照らし合わせて問題がないことを確認しました。今後、支部総会で提案し、承認をいただく予定です。

### ③支部活動費の執行状況

・12月末で執行の目安は75%に対し、62.0%の執行状況です。

・現時点で福山支部は予算内に収まる見込みです。

### ④支部理事増強の進捗状況

・進捗は事務局に掲示してある表をご覧ください。

・現支部理事は、いわば支部理事の同僚です。杉田組織委員長から増強の意義のお話がありましたが、支部全体に根付くにはまだ数年かかると思います。それを助けるのが支部理事です。

・未達成の方も地区などで協力して、3月末には全員達成できればと思います。一緒に頑張りましょう。

## 【承認事項】

### ①入退会の承認

#### ■入会希望者(4名)

(株)大誠産業 代表取締役 吉岡誠二(B)

事業概要 建築土木・産業用太陽光発電

合同会社エトスアップ 代表社員 蛭川万貴子(B)

事業概要 広報活動支援、採用活動支援、コミュニケーション研修

Kyykx.s Product 代表 佐藤佑樹(1)

事業概要 3Dプリンター製インソールの研究、製造、販売

MIKIKO 高田美樹子(1)

事業概要 広告写真、宣材写真、建築写真、ウェブ用写真、(海外事業)

#### ■退会希望者(4名)

(株)柳本商店 代表取締役社長 柳本和英(A)

(株)RESTIR 代表取締役 久安宏治(E)

(株)志満建設 専務取締役 八木亮人(P)

弁護士法人福山法律事務所 代表社員 上村大介(P)

以上、承認されました。

これにより福山支部の会員数は658名となりました。

## 【閉会あいさつ】

[掛江副支部長]

・本日が今年初の支部理事会でした。討議事項で振り返りをしました。1年がアツという間だったのではないのでしょうか。役員の任期ももうすぐ折り返しの時期が来ます。それぞれの担当任務で、いろいろな問題を抱えていらっしゃると思います。その課題を支部理事会で出していただき、みんなで解決していこう、というのが豊田支部長の「学び舎」だと受け取っています。役員は議案書を読む習慣をつけ、周囲に伝えていくことが必要だと思います。

・議案書は会社の経営指針書です。私も経営指針書を見直そうと思いました。1年が始まったばかりですが、元気で頑張っていきたいと思います。